

# 辺春地区 地域振興基本方針



令和6年（2024年）4月

NPO法人辺春地域振興会議

## 辺春地区 地域振興基本方針 目次

1. はじめに .....	1
2. 辺春地区の特徴 .....	2
3. 辺春地区の人口推移 .....	2
4. アンケート結果と自由意見 .....	3
5. へばる未来企画ワークショップから .....	11
6. アンケート及びワークショップから見えてくるもの .....	12
7. 辺春地区まちづくり基本方針 .....	13
8. 策定委員名簿 .....	15
9. NPO法人辺春地域振興会議組織図 .....	16

## 1. はじめに

八女市立花町では、「行政区が昔から担ってきた従来からの地域を維持していくこと」、「自治、環境、福祉関係という課題の解決を行うこと（守りの地域づくり）」に加え、平成17年から、「地域資源の活用やその時々課題解決を目指すための活動（攻めの地域づくり）を行うための地域振興会を制度化し、地域づくりに取り組んできました。

このことに鑑み、辺春地区では、平成17年に「辺春地域振興会議」を設立し、平成21年には「NPO 法人辺春地域振興会議」となり、これまで様々な活動を行ってきました。

社会情勢の急激な変化に伴い、八女市との合併や上辺春小学校・下辺春小学校・辺春中学校の統合（立花小学校、立花中学校）など、辺春地区を取り囲む生活環境も大きく様変わりし、今後も大きな変化が想像できます。

平成26年3月に「辺春地域振興計画」を作成し、事業を進めてきましたが、計画策定から10年を経過するにあたり、新たな辺春地区の地域振興基本方針を策定することといたしました。

令和5年7月に、辺春地区振興計画策定委員会を開催し、今回も辺春地区全世帯に対するまちづくりアンケート調査を行い、基礎資料としながら基本方針を策定しました。

これからの10年間の地域振興基本方針となります。住みよい辺春地区のまちづくりに向かってともに進みましょう。

NPO 法人辺春地域振興会議

## 2. 辺春地区の特徴

辺春地区は、南北に辺春川が流れ、地域の殆どが傾斜地区で、森林と竹林が大半を占めています。耕作地は、平たん部が少なく、段々畑が中心となっています。特に竹林が多く耕作放棄地が増加しています。

辺春沿いに走る国道3号は、主要道で交通量も多く、地域内で歩道がない区間もあり、急カーブが多いため、しばしば交通事故が発生しています。買物や医療機関がある八女市や山鹿市への交通は、国道3号以外に代替道路がなく、事故等の影響が懸念されます。

産業は、以前のみかん、筍から、みかんの一部がキウイに変わり、現在では、イチゴ、なす、きゅうり等ハウス栽培が増えてきました。一部では後継者も育ちつつありますが、農業従事者の高齢化もあり今後農地荒廃や衰退が心配されます。

地区外への勤務の影響もあり、転出等が増加し、人口減により、少子高齢化が進行しています。

## 3. 私たちの地区の世帯と人口

### 人口等の推移（辺春地区）

人口等の推移

（各年の3月31日現在）

	男(人)	女(人)	合計(人)	世帯数(戸)	1世帯 当たり人口(人)
平成25年	1,034	1,179	2,213	782	2.8
平成30年	844	970	1,814	706	2.5
令和5年	688	794	1,482	648	2.2

### 行政区毎の人口・世帯の推移

年 集落	平成25年3月31日		平成30年3月31日		令和5年3月31日	
	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯
辺春1区	568	212	453	183	390	163
辺春2区	401	144	317	129	267	116
辺春3区	514	169	434	153	357	144
辺春4区	331	108	284	108	228	102
辺春5区	399	149	326	133	240	123
合計	2,213	782	1,814	706	1,482	648

（数字は住民基本台帳によるもので、各集落で把握されている行政区加入者数とは違ってきます）

## 4. アンケート結果と自由意見

### 辺春地区まちづくりアンケート結果

実施日:令和5年8月

#### 1. 配布・回収概要

##### ①配布方法

行政区長を通じて辺春の行政区加入の全戸へ配布しました。

##### ②回収方法

アンケートの回収は、8月中を期限として行政区長に提出していただきました。

##### ③配布数・回収数

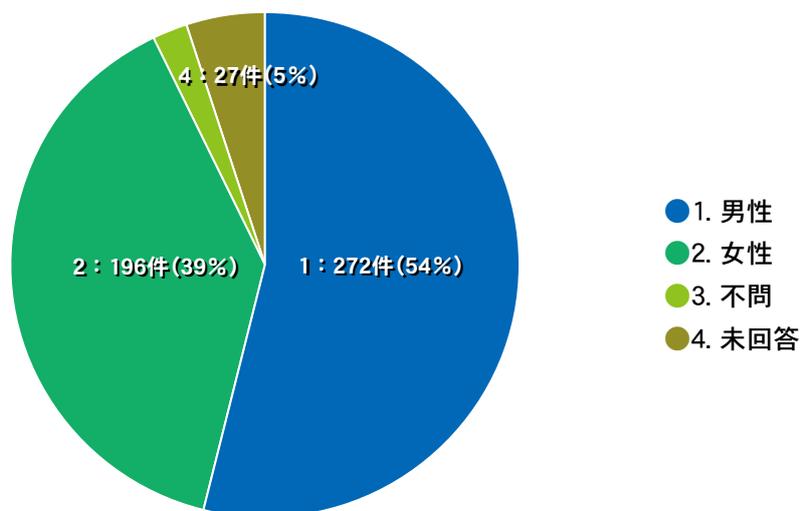
辺春全地区

配布数	回収数	回収率
564戸	501件	88.8%

#### 2. 集計結果

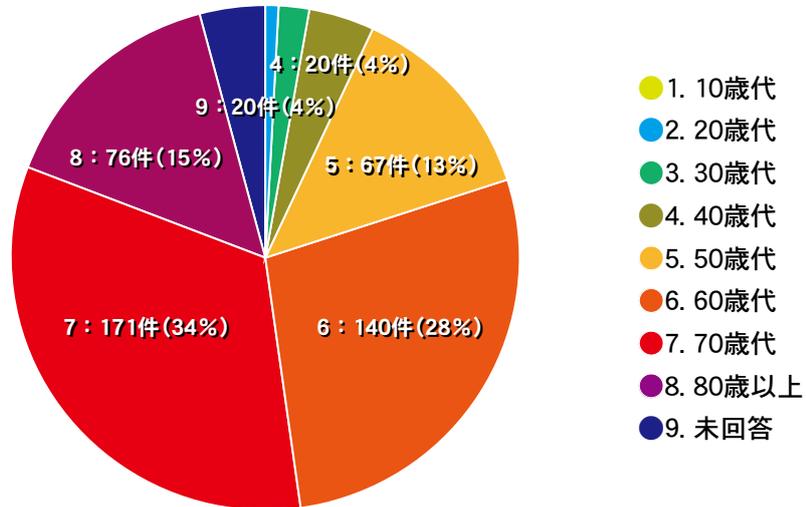
##### 回答者の性別・年齢層・家族構成

あなた自身についてお尋ねします。



## 回答者の年齢別

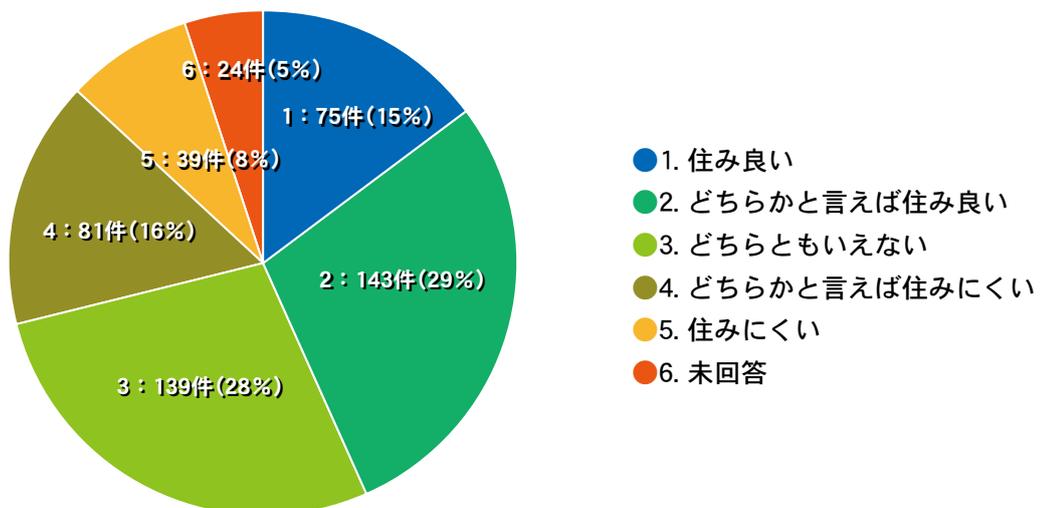
【年齢】

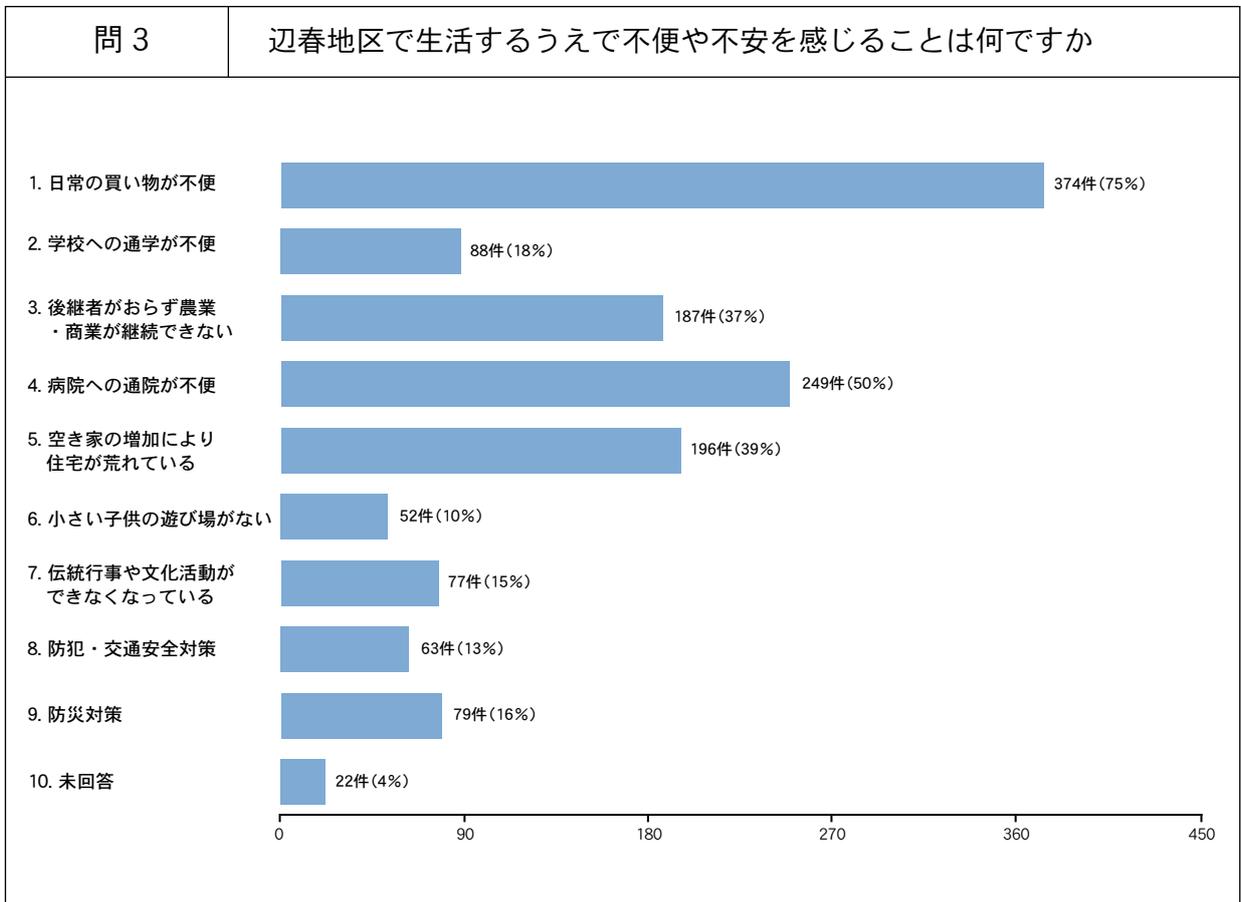
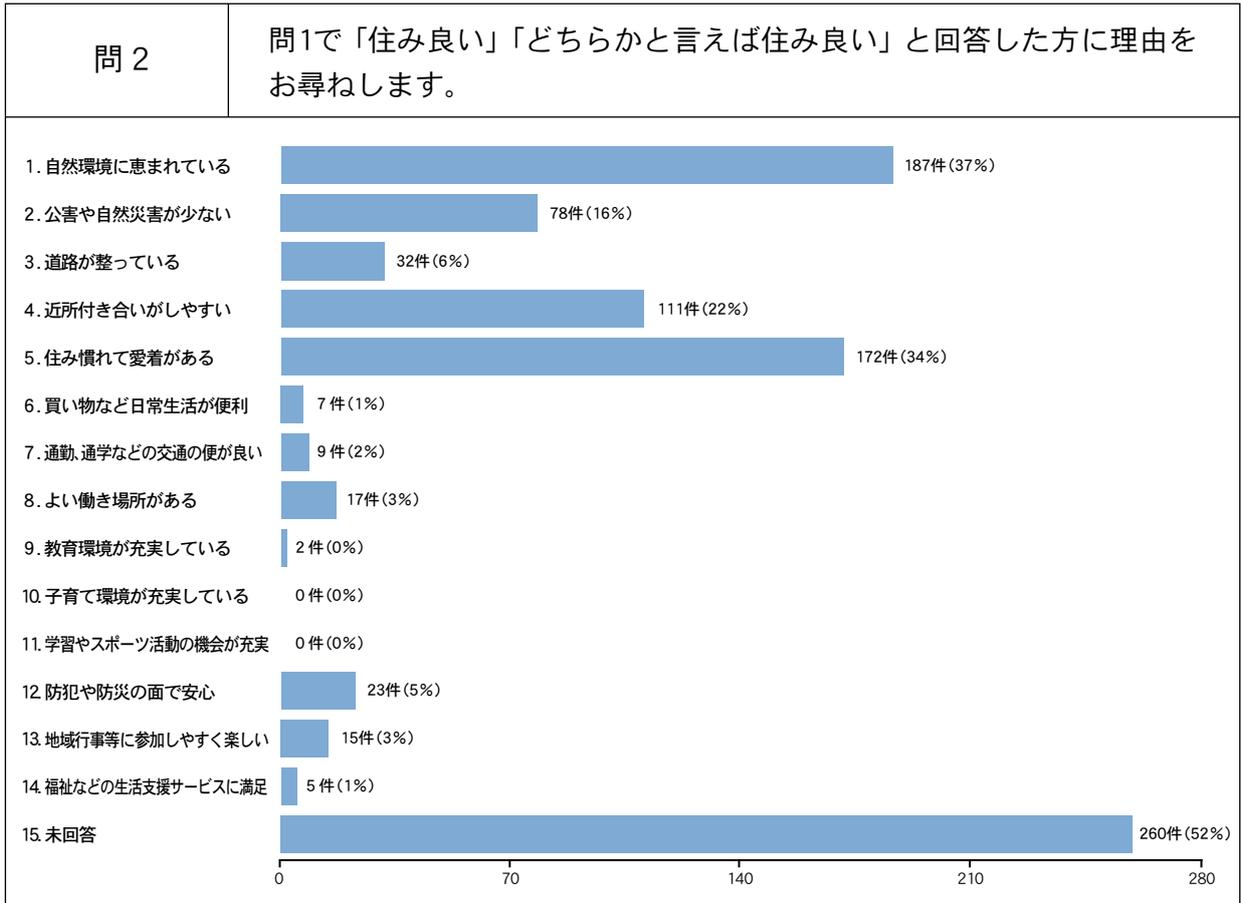


問 1

あなたは辺春地区を住み良いと思いますか。

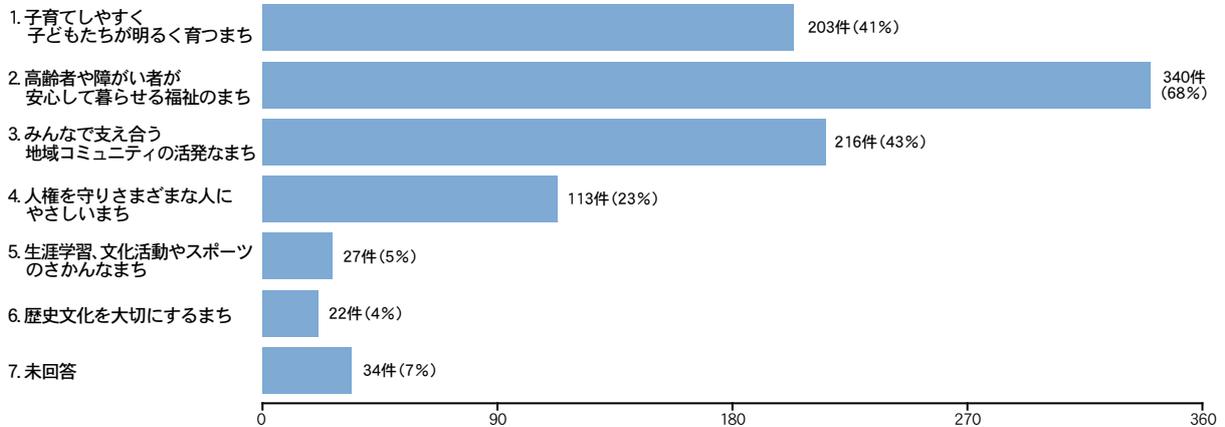
辺春地区を住み良いと思いますか。(回答は1つ)



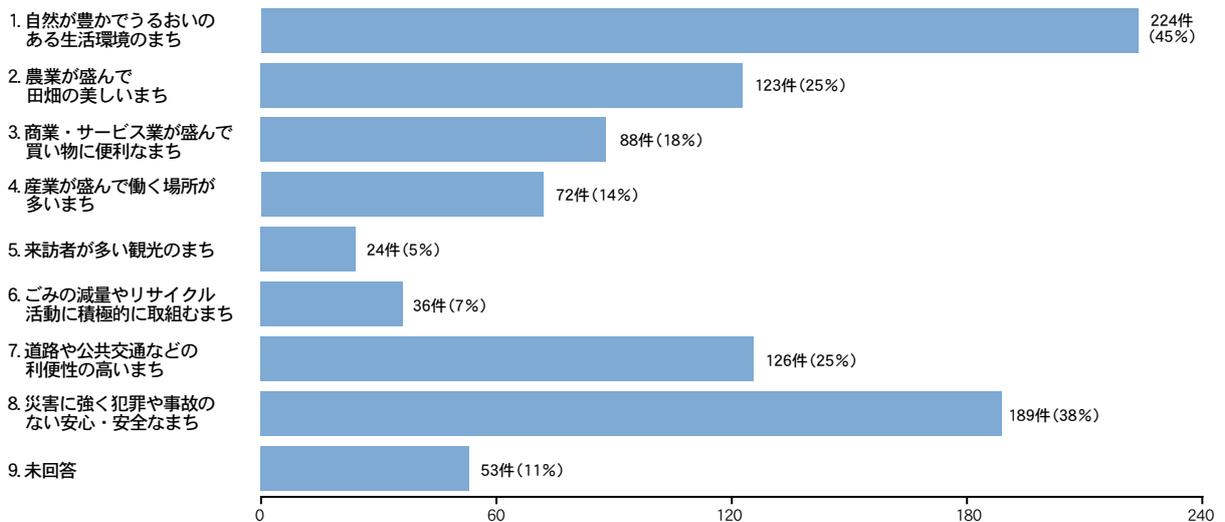


問 4 あなたは辺春地区をどのようなまちにしたいですか

「福祉・教育」

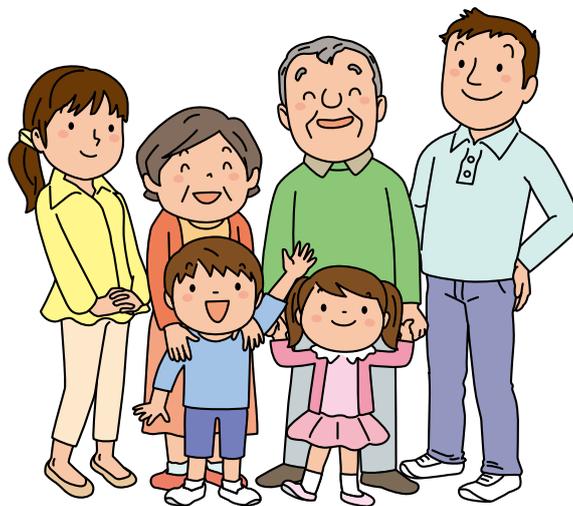
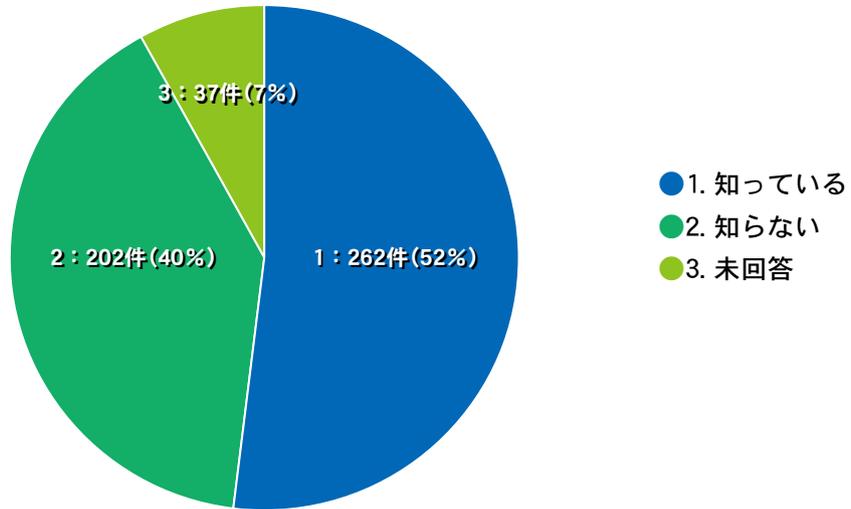


「経済・環境」



問 5

あなたは「辺春地域振興会議」を知っていますか



問 6	開催してほしい活動・イベント
1	人が集まって楽しめるイベント、青空マルシェ、小学校跡地でグランピングやキャンプ、人気のパン屋やカフェを集めてフリーマーケット。
2	ホテル祭り、花見、ヨガとかストレッチ教室。
3	敬老会で皆様と会えればと思います。
4	夏祭り
5	気軽に参加できる会合。
6	イベントを増やしてもらおうとそれに対しての世話事が多くなり大変なので、あまりイベントを増やしてもらいたくありません。
7	高齢者が集まって話ができる場所がほしい。
8	夏祭りなどの楽しいイベントなどを開催してほしい。
9	空き地を利用してリサイクルマート、手作り商品のマーケット等。
10	ホテル祭りの再開 ・竹を使った工作。(竹楽器やおもちゃとか)
11	花火を上げる場所があれば8月にあげてほしい。
12	特にありません。(高齢のため、参加が難しいので)
13	なにもしないでよい。
14	難しい。参加者が遊べる企画があれば。
15	花火大会
16	道の駅の活動 テナントハウス多く。
17	ありません。 しないでほしい。
18	講演会
19	祭り
20	盆踊り、または夏祭りを復活させてほしい。
21	高齢者なので、いろんな活動にも参加できなくなっているので、若い人たちが外部に出ないような対策を考えてほしい。何を…といわれても良くわからない。
22	学び場、講演会等
23	都会との交流
24	あまりない。
25	若い人に頑張っている人がいるので、支えてほしい。
26	ちょっと今は又、コロナが近辺でもはやり出しているようで、今少し自粛がいいかなあとは思いがあります。迎春地域振興の皆様にはお取組には大変感謝いたしております！！
27	婚活
28	過去の様な活動イベントでは迎春には人があまり来ません。迎春といえばまず迎春城の事、和水町が毎年行っている(国衆祭り)の様な事を迎春地区で行うと、多くの人が見に来ると思います。今は戦国武将や城のことに興味があると思います。

問 7	ご意見・ご提案
1	若い方は大変と思いますが、以前の様な活力ある辺春がなつかしいですね。甘えることなく気力だけでもしっかりしたいと思います。ご苦労様ですが、よろしくお願いします。
2	小学校跡地の有効活用、医師が常駐した診療所がほしい。
3	一人暮らしの世帯、高齢者世帯が年々増加し数年後の地区の姿を想像すると不安しかありません。空き家だらけで、体力も年々おとろえていくばかりで若い方の流入を増やすことを考えないと、町も消滅してしまうのではないのでしょうか。年寄りが住みやすい町なら若い人達も他には出ていかず、やりがいを持って暮らしていける、そんな立花町になってほしいです。
4	辺春は自然がいっぱいでいい町ですが若者が住めなくなっていくのも商業施設、働く場所がないからかなと思われる。辺春は山間に囲まれる町なので、山を走るコースを作るなど陸上競技場みたいなのが出来ると、若者たちがもっと集まるのではと思われる。また一時休養できるよう合宿など出来たら、都会の方々も楽しみができ、人が集まるのではと思う事があります。
5	今からは高齢者が多くなると思うので、自分の家にある本やいらぬ物、野菜等を持ち寄って、お互いに話ができる場所があれば良いと思います。
6	現在、学校がなくなってしまう子どもの数も少なくこのままだと若い人達が遠ざかってしまい過疎化する恐れが生じるため、それを阻止する町づくりがこれからの課題だと思います。自然に囲まれ山、川、ホテルのみえるすてきなところなので、みんなが集まる施設、田舎体験などが出来る民宿、辺春地区をインターネットで紹介するのもよいのではないかと思います。(特産品やお店なども紹介)
7	自販機の設定箇所を増やしてほしい。店もないので、店を作ってほしい。堀川バスの本数を増やしてほしい。長瀬公園のトイレにトイレットペーパーを入れておいてほしい。
8	高齢者にやさしい町づくり、山中に住んでいます。店がない、バスがない、ポストがない、病院が遠い、この先とても不安です。
9	高齢化が進んで空き家ばかりになりました。そして、道路を挟んでの杉木等大木になりました。誰の土地かさえもわからない大木を切り整備してほしい。見通しのよい村づくり。空き家も多く、台風で物が飛んで来たらどうなるのでしょうか。八女の市内ばかりが整備されて、田舎の方はあとまわしですね。市内の議員様方もあれやこれやと旗を掲げておられるようですが、なかなか実行されているのか、、第2第3の杉沢村にはしてほしいですね。しかも国道3号線の立石地区の歩道は、今頃できて誰も歩きません。こどももないのに、歩くのはイノシシたちかな。
10	過疎化が急速に進んでおり、早急な対策を実行していただきたいです。
11	辺春地区は車がないと不便。高齢になるにつれて不安。
12	この地区も高齢化が進み、子どもの声を聴くことも少なくなっています。辺春のような自然豊かな環境で子育てしたいと考えている若い親たちが移住しやすい環境を整えたり、それを喜んで迎え入れる体制作りができたりすれば少しは元気になるかもと想っています。
13	何かすると世話人が疲弊するだけなので何もしないでよい。このアンケートも誰の企画か知らないが、内容が薄っぺらで無駄と思われ、本気で地域を興そうとしている人はいないと感じる。
14	高齢者が増加して地区の行事・活動に負担が多くなっている。
15	無理をしないで 安心・安全な地域づくり。
16	温泉を掘ってください！
17	産業が多くて働く場所が多い街。 安心して暮らせるインフラ整備。

18	人口減少により毎年なんらかの世話人になり大変である。思い切った見直しが必要と思う。このアンケート項目（問に）その他の意見を入れるべきではないでしょうか？（入れてほしかった）
19	若い男女が結婚して子供の多い町。
20	年齢が上がると車の運転が不安になり、運転できなくなった時、買い物、病院など交通手段に困ることはもう明らかです。バスの本数を増やしてほしい。タクシー等利用するにも相当お金が必要です。補助金などで2.3割で利用出来るといいと思います。孫が遊びに来てもちよっと行ける公園などがまったくありません。
21	生活の基盤となる部分のシェア運営。
22	年に何回か振興会議の取組等を報告してもらいたい。我々が取組んでいた時の事例を県代表で県庁で発表したものを参考に目をとおしていただければ幸いです。
23	高校に通う手段がほとんどないので、高校を選ぶ時に選択肢が少ない。
24	迎春地区と都市間の交流をして迎春地区の自然の豊かさや農業体験の楽しさをPRしてほしい。
25	国道を広くして。事故があればすぐ止まる。
26	家庭野菜作りが楽しめる町。 犯罪、災害の少ない町。 自然が豊かな町。 山に人がいないので迎春がゴミ捨て場にならない様に。
27	若者が定住しやすい迎春に。 近場に工場他仕事場を作り徐々に過疎化を食い止めるように進めながら魅力ある農業を押し進め国の土台となる農業は大変な仕事。前の様なおだやかな住み良い迎春になろう。今の様に子供の声がせぬ迎春では、近い将来には空き家ばかりとなろう、今の先が見えている様に思う。
28	若い人を支えてほしい。
29	直接的な関わりがあるかはわかりませんが、（迎春地区まちづくりの一環として）ここ何年間か迎春川が以上に汚く、時には泡状がいっぱい流れて（時間帯にもよる）更には最近では川が非常に臭く、何とも言えない匂いがします。 近隣の方も都会より孫が川遊びに来るけど全くもって臭くて泳げないとの事です。（もうたまたま強くとのこと）以前のようにきれいな迎春川（ホタルの里）で、子供、孫たちのためにもまた現在住んでいる迎春の方々の環境問題、作物への影響も踏まえて、何卒この意見を取り上げていただきますようよろしくお願いいたします。（早々に） 《迎春川を守ろう》以前のキャッチフレーズ（迎春川の） 《自然環境に恵まれるためにも》
30	集落の公民館を利用しての活動があれば参加しやすいのでは！
31	子供の水遊び場（三瀨町にある公園の水遊び噴水）遊具等。

## 5. へばる未来企画ワークショップから

# 第2回ワークショップ

参加者で、辺春地区の課題などを確認

6/25（日） 旧上辺春小学校で開催

今回のワークショップでは、辺春地域振興会議の役員ほか、消防団、PTAなど地域で活動されている様々な属性の方にお声掛けをし、ローカルダイアログという手法を使用しました。

意見が似ているだろうということで、おおよその年齢層で分け、質問項目に答えながらお互い感じた理由や意見を出し合う形で行われました。

あくまで参加された方のご意見ですが、皆さんはどう感じられますか？

分野	質問項目	若者 男女	壮年 男性	壮年 女性	青年 男性	青年 女性	YES 比率	分野別 平均点 (YES/質問数)
まちの ウェル ビーイング	心が安らぐ場や機会があると感じている人が多いと思う	YES	NO	NO	YES	NO	40%	40
	住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う	NO	YES	YES	NO	NO	40%	
行政との 共創の しやすさ	政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う	NO	NO	NO	NO	NO	0%	0
	行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う	NO	NO	NO	NO	NO	0%	
地域との つながり やすさ	地域に頼れる人がいると思う	YES	YES	YES	YES	YES	100%	67
	住んでいる地域に関心がある人が多いと思う	YES	NO	YES	YES	YES	80%	
	地域外の人を受け入れようとする雰囲気があると思う	NO	NO	NO	NO	YES	20%	
暮らし やすさ	子育ての悩みを気軽に相談できる人がいると思う	YES	NO	NO	NO	YES	40%	33
	買い物、通学や通院など日常生活に便利なまちだと思う	NO	NO	NO	NO	NO	0%	
	地域の防犯、防災、交通安全活動などに取り組んでいる人が多いと思う	NO	NO	YES	YES	YES	60%	
地域資源 の豊かさ	仕事や社会生活において、自分の持っている知識や技術を十分に発揮できる機会（場）があると思う	NO	NO	YES	YES	NO	40%	40
	地域の資源（産業、文化・芸術・歴史、環境・自然）を活かした取組みが行われていると思う	YES	NO	NO	YES	NO	40%	
	生活の不便さや課題を補う新しいサービスが増えていくと思う	NO	NO	YES	YES	NO	40%	

## 成果

- 実際に活動されている方々の意見を聞いた
- お互いに自分の感じていることを話せた
- 新たな知り合いが増えた
- 具体的な活動企画に向けた足がかりができた

## 6. アンケート及びワークショップ(へばる未来企画)から見えてくるもの

この結果、今後の課題となる事案は「日常の買い物が不便」「病院への通院」が心配されていること。また、今後増加の傾向が予測される「空き家の増加」も生活環境問題として無視できないようです。「後継がない」ことも悩まれます。

また、どのような地域を望まれているかは、「高齢者・障がい者が安心して暮らせる町」、「子育てしやすい町」「みんなで支えあう地域コミュニティの活発な町」に多くの回答をいただきました。

ワークショップでは、アンケート調査より、若い人の意見が出されました。「地域とのつながりやすさ」「地域資源の豊かさ」が好感であり、買物など日常生活の暮らしやすさについては、懸念がある半面、「地域に頼れる人がいる」ことに好感があり、地域コミュニティが保たれていることではないかと思われれます。「行政との共創のしやすさ」については、課題があるようです。

自由意見等においても、少子高齢化、公共交通機関の問題、また、自然環境の問題等貴重な意見をいただきました。



## 7. 迎春地区まちづくり基本方針

### 1 地域の人々のコミュニティを大切にすまちづくり

全国的に、人口の減少が続いており、特に地方においては顕著な状況です。私たちの八女市全体においても、迎春地区においても人口減がまだまだ進んでいくことが想定されます。

このような状況の中、高齢者世帯等の買物問題や空き家問題など、今までになかった様々な問題が発生することとなります。その問題にどう対応し、どのように解決するかは、日頃からの地域住民のふれあいが一番大切なことです。子どもから高齢者までが、様々な絆で繋がり、豊かで穏やかに暮らせる地域を目指します。

地域住民の知恵と工夫で地域コミュニティの強化を図り、地域の絆を強める町づくりを推進します。

### 2 子どもたちが健やかに育ち、ふるさとに誇りをもつまちづくり

現在の子どもたちの環境は大きく変動しています。少子化による学校統合が進められてきましたが、今後も状況の変動により大きく変化することも考えられます。

子どもたちは、地域の宝です。迎春で育った子どもたちが、迎春で育ったことを誇りに思えるよう、安全で健やかな日々を過ごせるための環境づくりに地域住民全体で努力していきます。

### 3 地域のみんが協力しあい、防災、防犯に取り組むまちづくり

近年は地球規模の温暖化等により、日本だけではなく多くの地域で自然災害が多発しています。私たちが暮らす迎春地区も例外ではなく、昨今は大雨による災害や台風による災害が多くなってきています。これらの災害に対し今まで以上の危機感を持つことが必要となりました。

地域の消防団員の減少、昼間に若者が少ない状態、高齢者だけの地域の増加等多くの課題があります。公助に頼ることには限界があり、各地域で、自助・共助の体制を確立し、防災に対する研修や訓練等を通して、災害から命を守ることが大事になってきます。防犯や、交通事故への対策も必要です。特に高齢者や子どもたちを犯罪や交通事故等から護ることを重視し、今後も関係機関との情報共有を図り、地域コミュニティを活用しながら地域の安全・安心のまちづくりを進めます。

#### 4 多様化する問題に対応できるまちづくり

人口の減少により、辺春地区においても空き家が目立ちはじめました。空き家が放置状態になると、家屋の崩壊が進み近隣住民を危険に巻き込むことにもなります。解決には様々な知識と地域住民の協力が必要となります。空き家は個人の財産であるため、容易に解決することはできませんが、現状の把握を地域全体で認識し、行政への情報提供や簡易的な対策が必要です。

また、農地の放任が進んでおり、イノシシ等の被害等も今後増えていくことが予想されます。新たな問題に対し、行政や区長会等との情報共有を図り、問題解決に向けて努力します。

#### 5 安心して買い物ができるまちづくり

辺春地区においては、個人商店が無くなり、唯一買物ができる場所は、「道の駅たちばな」だけとなっています。このようなことから、アンケートにもあるように日常の買物について、多くの方が不便不安を感じています。

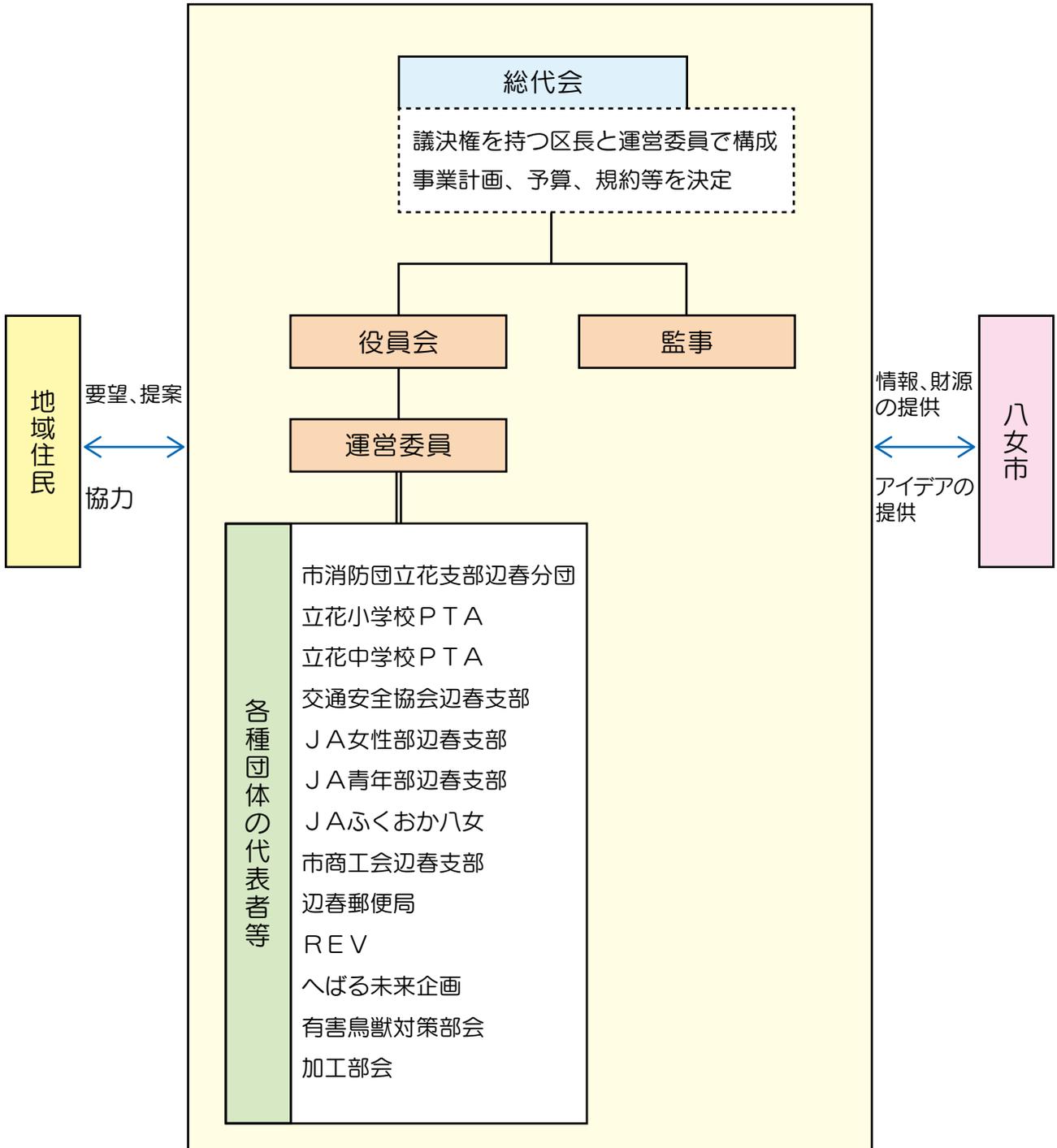
これまで、喫緊の課題として何か対策ができないか思慮してきましたが、令和5年、辺春地区内数か所において公民館においての出張販売ができるようになりました。

今後も事業が継続できるよう、また、拡大できるように事業者、市、社会福祉協議会、民生委員との協議、連携を図りながら進めていきます。





# NPO法人辺春地域振興会議組織図



辺春地区地域振興基本方針

発 行 令和6年4月

企画・編集 NPO 法人辺春地域振興会議

八女市立花町上辺春961番地

